

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社abilight	都道府県	埼玉県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	4人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織活性化、及び人材育成コンサルティング・研修・教育</li> <li>・女性の雇用創出モデルの研究開発</li> </ul>		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	本人の申請により実施。テレワーク規程あり。
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	全社員・及び契約コンサルタント
実施者数	主に4人
実施日数	週4~5回

## テレワークの導入・拡大の経緯

自分たちを含め、子育てや介護など、時間や場所の制約がある中で仕事と両立をしようとすると、「働ける場所」「働ける時間」という選択肢にならざるを得ない現実がありました。同じような理由でそれまでに得た経験や専門性を充分いかすことが難しい女性がたくさんいることに気付き、そのためのプラットフォームをつくりたいと思ったことが、テレワークを中心とした弊社起業の動機です。働く意欲や能力のある女性がやりがいをもって長期間働き続けるためには、会社側が柔軟な働き方を提供していく必要があると感じており、自分たちの働き方がひとつのモデルになれば、という想いで、試行錯誤しながらテレワークを中心とした新しい働き方にチャレンジしています。事業の特性上、お客様先に出向くことがほとんどのため、オフィスに出勤するよりも効率が良いことも拡大の理由です。

## テレワークの概要・特徴

- テレワークは本人の申請により、会社で認めた場合に行う(全社員実施)
- コアメンバー(バックオフィス業務)は、クラウドを利用したファイル共有、リアルタイムのチャット、オンラインミーティング、スケジュール管理など、ルールに則ってほぼ全ての業務をテレワークで実現しています。
- 案件ごとに契約している専門家チームを立ち上げ、テレワークでワークシェアを行っています。
- 担当業務、プロジェクトごとにアクセス権管理を行い、情報漏洩防止のための教育やセキュリティ対策を行っています。
- 社員は、月ごとに労働時間の枠を定め、それを超えないようにすることで在宅勤務に起こりがちな長時間勤務の弊害を防いでいます。



## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- それぞれの事情にあった柔軟な働き方を実現できることで、場所や時間に制限はあっても、働く意欲の高い優秀な人材を確保することができています。
- 固定費の支出が抑えられるため、適正な価格で質の高いサービスが提供できることが顧客満足度に繋がり、創業から売り上げが伸びています。
- 実際のテレワーク業務をする上では、ツールの使い分けやコミュニケーションの取り方など様々な課題も出てきますが、その課題解決そのものが新しい働き方のノウハウとなり、魅力ある組織づくりのためのコンサルティングにいかすことができています。
- 日経新聞でも新しい女性の働き方として紹介していただきました。(2017.3)

